



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

佐賀大学・小城市交流事業特別展 「京の雅と小城藩」を開催します

佐賀大学と合同で企画展を行います。

京都の公家社会と小城藩との文化交流をテーマにし、朝廷との交流の実態を示すとともに、京都が本場のさまざまな文化の在り方を小城鍋島文庫所蔵の和歌をはじめとした古典籍から紹介します。

◆期間 10月26日(土)～12月8日(日)

◆場所 歴史資料館 企画展示室

◆入場料 無料



▲桜岡二十景

佐賀大学交流事業に関連して講演会、 ワークショップ、史跡探訪会を開催します

【講演会】「小城市から考える近世の朝廷・幕府・藩」

◆日時 10月26日(土) 14時～

◆場所 歴史資料館 研修室

◆入場料 無料

◆講師 三ツ松誠さん

(佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師)

【ワークショップ】

「鍋島家ゆかりの香り体験会ー作って、丸めて
かいでみよう！鍋島加賀守の薫物「梅花」ー」

◆日時 11月16日(土) 14時～

◆場所 歴史資料館 研修室

◆入場料 無料

◆講師 田中圭子さん(広島大学研究企画室研究員)

【史跡探訪会(市内各所)】

◆日時 11月30日(土) 13時～16時30分

◆集合 歴史資料館(市バスで参加費無料)

◆案内 小城市郷土史研究会 ◆定員 35人(要予約)

おぎの歴史探検隊

地中に眠る太古のロマン〈その1〉土生遺跡の発見！

今から50年程前に小城市や三日月町では炭坑の坑道が沈下したため、その復旧作業が行われていました。一部が国史跡にもなった土生遺跡発見のエピソードは田んぼの中で行われていた復旧作業から始まります。

昭和46(1971)年8月のこと、三日月町土生地区の現場の脇道を通りかかった学生が大量に散らばった土器の破片を見つけ「すごい遺跡があるのでは!？」と予感しました。もちろん当時はそこに遺跡があることを誰も知りません。このままでは遺跡が全部壊されてしまうと危惧した学生が、文化財を担当する佐賀県教育委員会に通報したことによって緊急調査が行われました。

工事の期限がせまっていたため発掘調査は連日深夜にまで及びましたが、多くの土器、鋤や鋤などの

木製品が出土し、柱の跡などが確認されました。

この調査によって、約2000年前にあたる弥生時代

中期の集落跡で、初期農耕が行われていたことを裏付ける非常に高い価値を持っていることが分かり、全国から多くの学者も見学に集まりました。

国からも注目されるようになった土生遺跡は昭和48(1973)年に国史跡に指定されています。一人の学生が見つけた土器から始まった国史跡へのエピソード。もしこの発見がなかったら土生遺跡の存在が世に知られないままになっていたかもしれません。

次回は、その土生遺跡がどうして貴重な遺跡なのかをご紹介します。(続)



▲夜間の発掘調査

◆開館時間 9時～17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階)

担当 下川・永田 ☎71・1132